

SAPIX 5年 3月組分けテスト 大問6 補助プリント

(1) ①

	百	十	一
A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
和	5	5	5

AとBとCの和が555であり、百の位の和は5になる。
ただ、繰り上がりも考えないといけないので、繰り上がりがあった場合は、
使ったカードの百の位の和は()になり、
繰り上がりがなかった場合の、使ったカードの百の位の和は()になる。
以上のことを考えて、使ったカードの百の位の和はカードの組み合わせから判断すると、
()は(作れる・作れない)ので、(1)の答えは、()になる。

(1) ②

①で百の位の和は、()なので、「」、「」、「」を百の位に、カードとして使ったことになる。

	百	十	一
A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
和	5	5	5

だから、十の位の和は、問題文通りの5ではなく、百の位に繰り上がりをすることや、一の位からの繰り上がりも考えると、使ったカードの十の位の和は()になる。

(2) ①Cの十の位が6である場合、

	百	十	一
A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
C	<input type="checkbox"/>	⑥	<input type="checkbox"/>

という形になる。

十の位の和は、(1) ②によると()だから、Cの十の位が6なので、AとBの十

の位の和は、()になる。すると、AとBの十の位の数字は、(、)になる。

そうすると、今、百の位で、数字の(「 」「 」「 」)を使い、十の位で、(「6」、「 」「 」)を使ったので、残りの一の位は、(「 」「 」「 」)しかない。

だから、AとBの数は、A(、 、) B(、 、)が答えとなる。

(2) ② Cの十の位が5の場合は、

百 十 一

A □ □ □

B □ □ □

C □ ⑤ □

このようになる。

(1) ②より、十の位の和は、()だから、Cの十の位が5なので、AとBの十の位の和は、()になる。そうすると、AとBの十の位の数字は、(、)になる。

そうすると、いろいろな組み合わせがあるね。

百の位は、(「 」「 」「 」)で、十の位は、(「 」「 」「 」)だから、

百 十 一

A 1 4 □

B 1 5 □

C 2 ⑤ □

となる。

そうすると、一の位の残りの数は、(「 」、「 」、「 」)の3つになる。

じゃあ、これの入れ方を考えてみよう!

気をつけることは、問題文にある、「CはB以上、BはA以上ということ!」

百 十 一

A 1 4 □

B 1 5 □

C 2 ⑤ □

百 十 一

A 1 4 □

B 1 5 □

C 2 ⑤ □

百 十 一
A 1 4 □
B 1 5 □
C 2 ⑤ □

百 十 一
A 1 4 □
B 1 5 □
C 2 ⑤ □

百 十 一
A 1 4 □
B 1 5 □
C 2 ⑤ □

百 十 一
A 1 4 □
B 1 5 □
C 2 ⑤ □

以上のことから、(2) ②の十の位が5の場合は、AとBとCの組み合わせは、
() 通りある。

(2) AとBとCの組み合わせですが、Cの十の位が()の場合をやっていないから、ここでやってみよう。

十の位の使ったカードの和は、14なので、Cに4が入るとすると、AとBの和は、()
になるので組み合わせとしては、
ア(、)またはイ(、)になる。

では、アのケースでやっていくと、残りのカードは、(、 、)なので、
一の位に入れてみると、

百 十 一
A 1 5
B 1 5
C 2 ④

百 十 一
A 1 5
B 1 5
C 2 ④

百 十 一
A 1 5
B 1 5
C 2 ④

なので () 通りできる。

次にイのケースでやっていくと、残りのカードは、(5、5、5)なので、

百 十 一
A 1 4
B 1 6
C 2 ④

しかないので、() 通りできる。

そうすると、Cの十の位が6、5、4の場合を全て合計すると、答えは() 通りになる。